

◎栄養教諭・学校栄養職員の配置について

1 栄養教諭・学校栄養職員の配置基準

【自校方式】

児童生徒数が 550 人以上の学校は 1 人、550 人未満の学校は 4 校に 1 人の配置となる。

【センター方式】

提供する児童生徒数が、1,500 人以下の場合は 1 人、1,501 人～6,000 人までが 2 人、6,001 人以上が 3 人の配置となる。

【親子方式】

明確な基準がない。

2 現在の小学校の栄養教諭・学校栄養職員の配置

現在自校方式で実施している小学校（46 校）においては、上記配置基準により 18 人の栄養教諭・学校栄養職員を県費職員として配置している。加えて、市費職員として 5 人配置し、46 校に対し計 23 人の栄養教諭・学校栄養職員で 1 人が 2 校を兼務する体制としている。

3 栄養教諭・学校栄養職員配置の想定について

(1) 配置条件の設定

次のとおり配置体制を設定し、市費による配置人数を算出した。

(単位：人)

	配置体制	必要 人数	小学校配置人数 (現行)		中学校完全給食実施 に伴う県費配置人数			不足人数 (市費による配置人数)		
			県費	市費	自校	センター	親子	自校	センター	親子
1	小：現行 中：2校に1人	35	18	5	9	1カ所 3	18	3	12	-6 *3
2	小：現行 中：全校配置	46						14	23	5
3	小：全校配置 中：配置なし	46						14	23	5
4	小中ともに 全校配置	69						37	46	28

*1 センター方式の場合、新たに配置される県費配置人数は全てセンターに配置するものとし、学校への配置は市費によるものとした。

*2 親子方式の場合、明確な配置基準はないが、小学校で作る提供食数に応じて配置されるものと想定した。

*3 親子方式で小中学校ともに2校に1人の配置体制とする場合、県費職員と現行の市費職員で必要人数を上回る。

(2) 費用の試算

市費職員1人の単価を3,040,000円とし、試算した。

	配置体制	必要 人数	市費による配置人数			費用 (円)		
			自校	センター	親子	自校	センター	親子
1	小：現行 中：2校に1人	35	3	12	-6	9,120,000	36,480,000	—
2	小：現行 中：全校配置	46	14	23	5	42,560,000	69,920,000	15,200,000
3	小：全校配置 中：配置なし	46	14	23	5	42,560,000	69,920,000	15,200,000
4	小中ともに 全校配置	69	37	46	28	112,480,000	139,840,000	85,120,000